

クラス	105	担当教員	にしむら かず ひこ 西村 一彦
	テーマ	データを採って分析する	
	著書・論文	技術, 資源, 環境, イノベーション	
	研究課題等		

ゼミナール 概要

キーワード： 調査, 分析, 統計, 英語

目的, 内容, 方法等：

経済学には理論と実証の 2 つのアプローチがあるが、本ゼミナールでは、実証研究を中心としたアプローチを修得することを学習目標としている。

最終的にはテーマにしたがってデータを採取することが重要である。テーマは学生の興味や時勢に即したものを選ぶが、これまでは、ため池の魚類調査, あるいはタイ紅茶やウェイツフルボールなど, 科学的マーケティングの手法に基づいたものを扱ってきた。

これらのデータの分析には, 統計的手法の理解が不可欠であり, 2年・3年次では統計学の習得が主な課題となる。英語の文献から知識を得ることにより, 数量分析の知識とともに英語の習得も目標とする。

授業計画：

2年次は, 英語で書かれた統計学の教科書で学びます。毎回, 担当箇所が決められ, 各自が報告します。3年次も, 基本的には英語の文献の講読ですが, 内容は経済学・経営学に関するものになります。4年次は, 各自のテーマでデータ採取・分析を行い, 卒業論文を書きます。(卒論は日本語で可)

使用テキスト	担当教員からのメッセージ
後日指定します	アルバイトや部活を優先する者は歓迎しません。 英語が不得手な人は苦勞すると思いますが, 英語の文献は, たいてい非常にわかりやすく書かれています。英語も数学も一度に両方できて, 一石二鳥なのではないでしょうか。